

01 健全化判断比率と資金不足比率

早期健全化基準はすべてクリアも厳しい財政状況

平成19年6月に成立しました「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）により健全化判断比率の公表が義務付けられ、本格実施となった平成20年度決算から、いずれかの基準を超えると「早期健全化団体」や国の管理下におかれる「財政再生団体」となります。

せたな町においては、事務事業の見直しや起債借入の抑制、繰上償還を行うなど様々な取り組みにより、実質公債費比率はピークであり、早期健全化基準にあと2ポイントと迫った平成19年度の23.0%から2年間で3.5%減の19.5%、将来負担比率では40.4%減の108.3%となり、「財政非常事態宣言」のもと着実に財政健全化の取り組み効果が現れています。

健全化判断比率	平成19年度	平成21年度	増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	14.32%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	—	19.32%	40.00%
実質公債費比率	23.0%	19.5%	△3.5%	25.0%	35.00%
将来負担比率	148.7%	108.3%	△40.4%	350.0%	—

資金不足比率	区分	比率	経営健全化基準
病院事業	法適用	—	20.0% ※法とは「地方公営企業法」 ※用語の解説は5ページ
簡易水道事業	法否適用	—	
公共下水道事業		—	
漁業集落排水事業		—	
原力発電事業		—	

総務省のホームページには全国版の健全化判断比率等（速報値）が掲載されています。（平成22年9月28日報道資料）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02zaisei07_000009.html

平成21年度決算報告
町の家計簿をチェック

せたな町の「まちの家計簿」ともいえる平成21年度各会計決算がまとまりました。今月号では、平成21年度決算の概要と健全化判断比率の公表、平成18年7月の「財政非常事態宣言」から4年を経過した現在の財政状況についてお知らせいたします。

02 会計別収支決算額

会計名	収入額	支出額	差引額
普通会計	105億6,787万円	103億9,450万円	1億7,337万円
特別会計	38億3,019万円	37億8,645万円	4,374万円
国民健康保険事業	16億4,723万円	16億2,333万円	2,390万円
老人保健事業	2,752万円	2,736万円	16万円
後期高齢者医療事業	1億1,612万円	1億1,606万円	6万円
介護保険事業	8億8,702万円	8億7,686万円	1,016万円
介護サービス事業	6,935万円	6,914万円	21万円
簡易水道事業	5億1,611万円	5億1,027万円	584万円
公共下水道事業	4億9,779万円	4億9,622万円	157万円
漁業集落排水事業	624万円	616万円	8万円
風力発電事業	5,257万円	5,081万円	176万円
港湾整備事業	1,024万円	1,024万円	0万円
病院事業			
収益的収支	13億6,005万円	12億9,381万円	6,624万円
資本的収支	5,585万円	7,857万円	△2,272万円

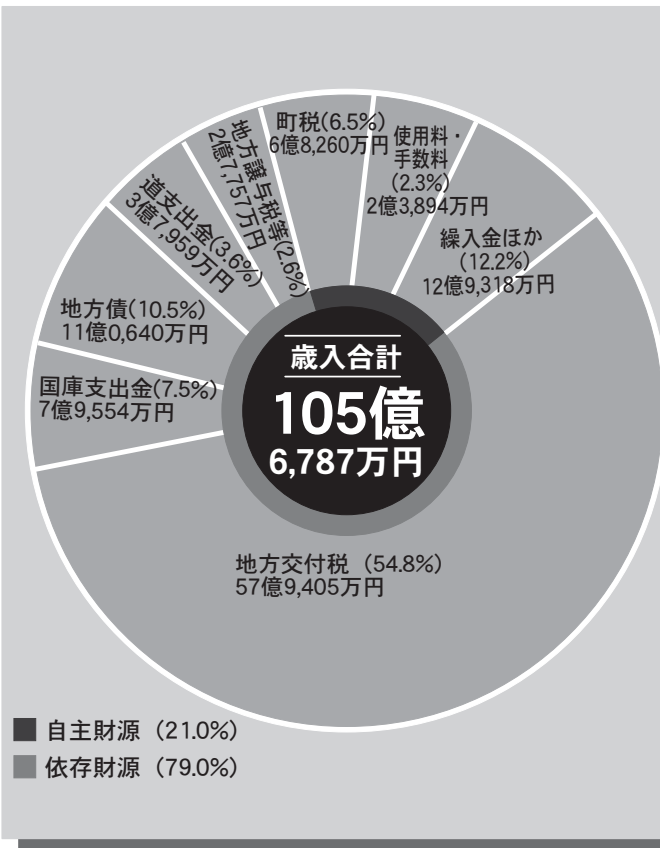
03 普通会計歳入

依存財源が全体の約8割

歳入の決算額は105億6,787万円で、前年度比10.5%、約10億円の増額となりました。

歳入に占める依存財源の割合は79.0%と多額で、地方交付税で57億9,405万円、前年度比2.1%、約1億2,000万円の増、地方債が11億6,400万円、前年度比25.7%、約2億2,600万円の増、国庫支出金では7億9,554万円で前年度比15%、約1億4,000万円の減となり、依存財源全体では3.2%、約2億5,700万円の増額となりました。

これに対し、町の自主財源は22億1,472万円で前年度比50.8%、約7億4,600万円の増額となりましたが、これは平成20年度繰越金4億9,381万円のうち4億5,299万円は国の経済対策等（地域活性化生活対策事業や定額給付金給付事業など）に伴う繰越財源で、前年度比1,080.0%、約4億5,200万円の増となりました。また、松山広域行政組合より松山ふるさと市町村圏基金の出資償還金あり、財産収入で前年度比199.2%、約2億1,900万円の増となったことによるものです。



歳入の決算額は103億9,450万円で、前年度比15.2%、約13億7,400万円の増額となりました。

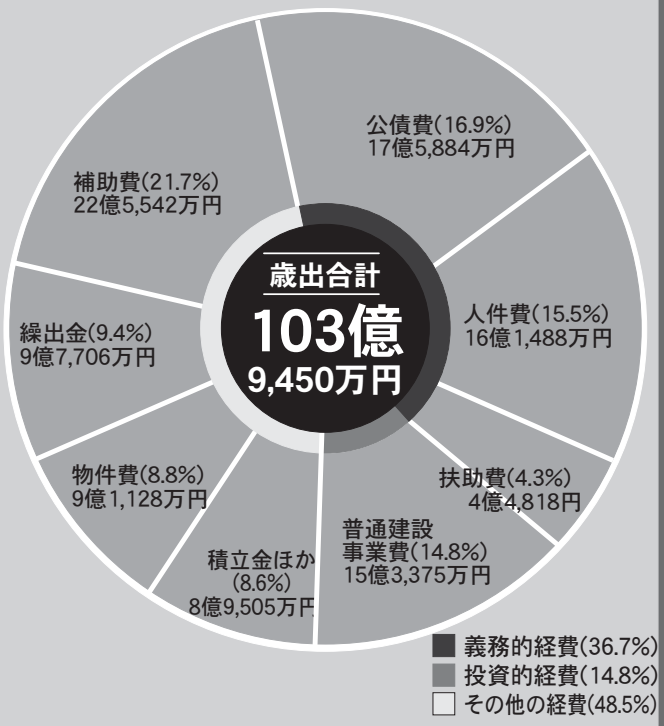
性質別経費では、借入金返済の公債費が17億5,888万円で前年度比7.0%、約1億3,300万円の減、議員報酬や職員給与費である人件費が共済組合や退職手当組合負担金の改定などにより16億1,488万円、前年度比2.6%、約4,200万円の増、国の法律に基づいて支出する扶助費が4億4,818万円で前年度比4.6%、約2,000万円の増ととなり、これらの義務的経費が歳出全体の36.7%と高い割合となっています。

その他の経費の中では、産業振興、福祉・医療などの充実のための助成金や一部事務組合（消防・衛生センター）への負担金などの補助費が22億5,542万円で前年度比40.8%、約6億5,400万円の増額となっており、増の主な要因は衛生センター組合最終処分地造成事業に伴う負担金や、生活交通路線維持バス購入補助金などによるものです。また、積立金では松山ふるさと市町村圏基金出資償還金を財政調整基金などに積み立てたことで6億2,580万円となり、前年度比147.7%、約3億7,300万円の増額となりました。

投資的経費の普通建設事業費では、国の経済対策による地域活性化経済危機対策や前年度からの繰越事業（地域活性化生活対策事業や定額給付金給付事業など）で15億3,375万円となり、前年度比45.7%、約4億8,000万円の増額となりました。

04 普通会計歳出

前年度に比べ13億超の増額



普通会計歳入歳出差引額1億7,337万円のうち平成21年度事業で翌年度に繰越す財源649万円と財政調整基金への繰入額8,542万円を差引いた8,146万円は前年度繰越金として平成22年度の歳入となります。

財政非常事態宣言から4年

せたなの 財政状況

「財政非常事態宣言」後の平成18～21年度の普通会計決算状況等は次のとおりです。
歳入においては、依存財源である地方交付税が平成18年度と比べ3・4%、約1億9千万円増額しています。また、地方債においては事業の優先順位を勘案し起債事業を厳選した結果15・8%、約2億円を削減しており、各年度との累計額では10億円以上減額しています。地方債の借入を返済額以下に抑えることで、着実に地方債残高は減ってきています。

自主財源では、長引く景気低迷により町税は伸び悩んでいます。合併当時の財源不足を生じた分を財政調整基金などの各基金から財源に充てていた財政運営は、平成20年度以降改善され、基金からの充当は事業の目的にのみ充てておりません。
なお、合併当時から基金残高は約10億円以上増えています。合併特例債を活用しての地域振興基金の造成約8億3千万円が含まれていることにより増えています。また、目的基金からの長期借入残高も減ってきているものの、現在はまだ約1億7千万円残っている状況です。

歳出においては、義務的経費である公債費は平成18年度と比べ8・0%、約1億5千万円の削減となり平成19年度をピークに減少しています。これは地方債の借入を抑制し繰上償還を実施したことによるもので、合併時からの起債残高は一般会計で約21億円、特別会計を合わせた全体では約33億円減っています。
また、人件費では特別職や職員給与の独自削減、退職者不補充などにより11・6%、約2億1千万円の削減で、各



普通会計収支の決算状況

区分	各年度決算の状況				21年度と18年度比較	
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減額	増減率
歳入	97億9,323万円	93億3,421万円	95億6,476万円	105億6,787万円	7億7,464万円	7.9%
依存財源	80億2,049万円	74億5,523万円	80億9,625万円	83億5,315万円	3億3,266万円	4.1%
うち 地方交付税	56億0,328万円	55億3,543万円	56億7,333万円	57億9,405万円	1億9,077万円	3.4%
うち 地方債	13億1,470万円	8億8,550万円	8億8,000万円	11億0,640万円	△2億0,830万円	△15.8%
自主財源	17億7,274万円	18億7,898万円	14億6,851万円	22億1,472万円	4億4,198万円	24.9%
うち 町税	6億7,648万円	7億1,791万円	6億9,265万円	6億8,260万円	612万円	0.9%
うち 繰入金	3億0,668万円	4億1,955万円	1億1,774万円	2億2,391万円	△8,277万円	△27.0%
歳出	96億9,049万円	92億4,038万円	90億2,076万円	103億9,450万円	7億0,401万円	7.3%
義務的経費	41億2,203万円	41億0,407万円	38億9,362万円	38億2,194万円	△3億0,009万円	△7.3%
うち 公債費	19億1,083万円	19億8,772万円	18億9,206万円	17億5,888万円	△1億5,195万円	△8.0%
うち 人件費	18億2,647万円	16億9,732万円	15億7,326万円	16億1,488万円	△2億1,159万円	△11.6%
その他経費	41億9,205万円	42億1,643万円	40億7,427万円	50億3,881万円	8億4,676万円	20.2%
投資的経費	13億7,641万円	9億1,988万円	10億5,287万円	15億3,375万円	1億5,734万円	11.4%
歳入歳出差引額	1億0,274万円	9,383万円	5億4,400万円	1億7,337万円		



年度の累計では約5億9千万円もの削減につながっています。

歳入歳出においては平成18年度と平成21年度を比べるとどちらも7億円以上増額していますが、これは平成20年度から21年度に行ないました国の経済対策などによるもので、平成21年度歳出決算では約9億円の事業費となっており、この国の経済対策により、今まで財源不足などで維持管理や整備が不十分だった施設に手をかけることができ、地域経済の活性化と合わせて町の財政運営の手助けともなりました。

平成18年からの財政健全化への取り組みにより、数値的には健全化の方向に進んではいるものの、政権交代した国の政治や景気の動向、さらには今年実施された国勢調査による人口の減少により地方交付税の減額が見込まれるなど、財政運営に見通しのつかない状況であることは確かです。

今後とも更なる健全化に取り組む、「財政非常事態宣言」の早期解消に向け進めてまいります。



まちの貯金・まちの借金

基金 (貯金)

区分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減(H21-H17)
財政調整基金	3億8,836万円	3億3,768万円	2億9,276万円	3億4,598万円	6億9,502万円	3億0,666万円
減債基金	1億1,932万円	9,342万円	6,367万円	4,383万円	4,389万円	△7,543万円
その他特目基金など (特別会計・備考資金含む)	14億8,514万円	15億5,780万円	18億0,703万円	19億8,802万円	23億2,733万円	8億4,219万円
うち地域振興基金	0万円	3億0,010万円	6億1,729万円	7億2,424万円	8億3,194万円	8億3,194万円
うち一般会計への長期貸付	1億2,000万円	1億6,500万円	3億3,800万円	3億5,300万円	1億7,150万円	5,150万円
合計	19億9,282万円	19億8,890万円	21億6,346万円	23億7,783万円	30億6,624万円	10億7,342万円

地方債 (借金)

区分	一般会計	特別会計	合計	町民一人当たり
平成17年度	158億9,568万円	53億1,772万円	212億1,340万円	214万円
平成18年度	156億4,160万円	50億8,181万円	207億2,341万円	209万円
平成19年度	148億8,733万円	46億5,544万円	195億4,277万円	197万円
平成20年度	141億6,280万円	43億0,044万円	184億6,324万円	186万円
平成21年度	137億6,280万円	41億2,460万円	178億9,348万円	181万円
平成22年度見込	131億7,622万円	39億9,404万円	171億7,026万円	173万円
増減(H21-H17)	△21億2,680万円	△11億9,312万円	△33億1,992万円	△34万円

※町民一人当たりの残高は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳人口9,903人で除した額

【用語解説】

●健全化判断比率
実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の四つの財政指標の総称です。

●実質赤字比率
せたな町の普通会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

●連結実質赤字比率
公営企業会計を含むせたな町の全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模に対する比率です。

●実質公債費比率
せたな町の全会計及び一部事務組合(北部松山衛生センター組合など)が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。

●将来負担比率
せたな町の全会計、一部事務組合、土地開発公社及び第三セクター(温泉ホテルきたひやまなど)が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

●標準財政規模
標準的な税収入額と地方道路譲与税などの交付金に地方交付税を加えた額で、標準的な行政サービスを行うための一般財源の規模を示す金額です。

●資金不足比率
せたな町の特別会計である病院事業や簡易水道事業などの各公営企業の営業収益(料金収入など)と事業規模とを比較した比率で、経営状況の深刻度を表す指標です。